

令和 5 年度の取組事例

【取組項目】

- ・円滑かつ迅速な避難のための取組 …… P1 ～ P38
- ・的確な水防活動のための取組 …… P39 ～ P42

自治体名：茨城県（土木部 河川課）

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	ICTを活用した洪水情報の提供（分かりやすい水位情報の提供）

令和5年度の実施状況

茨城県河川情報システム

水防関係者向けメール配信 サービスの強化

これまで

R6年3月から

① 一機関あたり登録可能人数

10名程度

⇒ **拡大** ⇒

50名程度

② 配信情報の充実

- ・雨量観測情報
- ・土砂災害警戒情報
- ・気象警報・注意報

- ・記録的短時間大雨情報
- ・府県気象情報
- ・地震情報(震度4以上)

**追加
+**

県管理河川

- ・水位観測情報
- ・水位到達情報(水位周知河川)
- ・水防警報
- ・洪水予報(洪水予報河川)

国管理河川

- ・水位到達情報(水位周知河川)
- ・水防警報
- ・洪水予報(洪水予報河川)

自治体名：茨城県（防災・危機管理部 防災・危機管理課）

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	防災教育の促進（マイ・タイムライン作成授業の実施）

令和5年度取組状況

- ▶ 水害時の逃げ遅れによる人的被害ゼロに向け、住民が適切な避難行動を取れるようにするため、「マイ・タイムライン」の普及に努めている。
- ▶ 特に令和4年度からは、国や市町村等と連携し、洪水ハザード内にある全小学校において「マイ・タイムライン」の作成授業を実施しており、災害の怖さや自分の命は自分で守る“自助”の大切さを認識してもらうなど、防災教育に取り組んでいる。
- ▶ 令和5年度実績（見込み）：全99校のうち62校について県で講師派遣予定（※）

※その他は国や市町村等で実施



マイ・タイムライン作成授業の様子

自治体名：水戸市

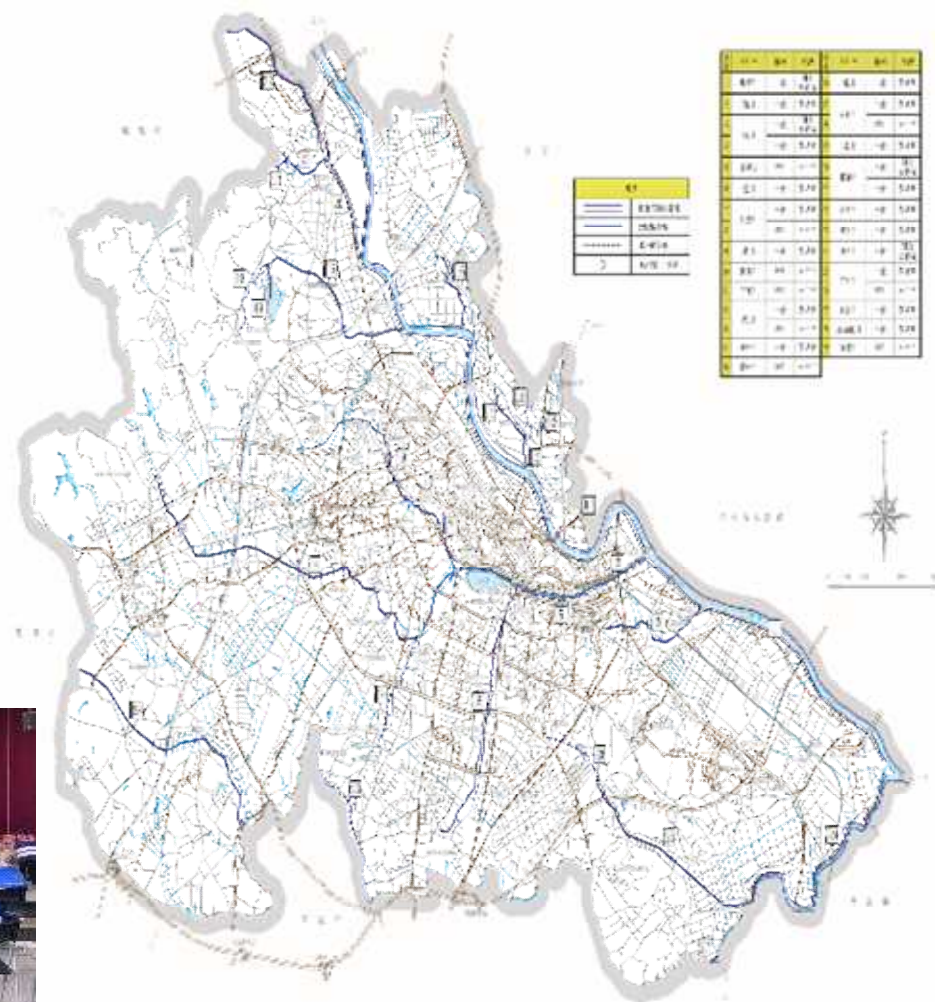
取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	新たに指定された洪水浸水想定区域の対象地区への説明会

令和5年度の取組状況

令和6年度までに完了予定である県管理河川における洪水浸水想定区域の指定を受け対象地区への説明会を実施しました。

指定を受け新たに対象となった地区および町丁名

河川名	対象となる地区名	対象となる町丁名
涸沼前川	鯉淵, 内原	下野町, 五平町, 小林町, 高田町
逆川	寿, 笠原, 吉沢	東野町, 米沢町 笠原町, 平須町
沢渡川, 堀川	石川, 堀原	緑町2丁目, 緑町3丁目 自由が丘, 松が丘1丁目 松が丘2丁目, 新原1丁目 堀町, 石川町, 石川1丁目 石川2丁目, 石川4丁目 見和1丁目, 見川1丁目 東赤塚, 姫子1丁目



自治体名：古河市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	「行動してみよう！水害から命を守る自家用車避難」の実施

令和5年度の取組状況

- ・浸水想定区域に居住し、水害時に自家用車で避難を考えている市民の意識向上と避難の実効性向上を図るために、「行動してみよう！水害から命を守る自家用車避難」を9月3日（日）に実施した。
- ・訓練参加者は自宅から各自の避難先まで、実際に自家用車で避難し、避難経路の確認や、避難の際に予想される障害（渋滞や冠水）などのリスクを考えてもらった。
- ・避難完了後または避難の途中で「ゴヨーふれあいスポーツセンター」に立ち寄り、避難所体験を行った。避難所体験では、避難所の受付方法や避難時の情報取得方法、市職員による避難経路の指導を行った。また、段ボールベッドや仮設トイレ、備蓄品の展示を行った。



自治体名：結城市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	マイ・タイムライン作成講座の開催

令和5年度の取組状況

自主防災会にたいして、出前講座を実施し、マイタイムラインの作成等、防災知識の普及・啓発を行った。

5月6日 新田間町自主防災会 15名

7月9日 林自主防災会 50名



自治体名：龍ヶ崎市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	タイムライン（ホットラインを含む）に基づく首長も参加した実践的な訓練

令和5年度の取組状況

「龍ヶ崎市・川原代ふれあい協議会総合防災訓練」

- 訓練想定：台風が過ぎ去った翌日に小貝川の水位が上昇し、越水の危険性が高まったことを想定
- 日時：令和5年11月25日（土） 8：30～13：00
- 場所：龍ヶ崎市立駒馬台小学校体育館、龍ヶ崎市立川原代小学校体育館・グラウンド、小貝川土手（龍ヶ崎市高須橋周辺）、龍ヶ崎市役所附属棟1階会議室

(1) 市災害対策本部設置・情報伝達訓練

市役所の附属棟へ災害対策本部を設置し、各班の災害対応を展開、また、訓練シナリオに沿って、防災関係機関とIP無線やFAXを利用し、情報伝達訓練を実施しました。



災害対策本部会議

(2) 避難訓練・避難所設営訓練・災害ボランティアセンター受付訓練

防災行政無線の放送を合図に川原代地区住民が高台の指定避難所となる駒馬台小学校へ避難する訓練を実施しました。



避難所のレイアウトの様子

(3) 現地災害対応訓練

小貝川の水位監視のため、消防団本部は、小貝川土手に現地対策本部を設置。消防団は各機庫において待機し、本部の出動命令により、小貝川土手の現地対策本部に参集し、小貝川及び牛久沼の水位監視、小貝川土手の亀裂確認、漏水箇所の確認などの見回りを実施しました。



消防団による堤防巡視の様子

(4) 川原代小学校児童防災訓練

小学校児童と保護者が、授業参観後にパーテーション・段ボールベット体験や土のうの作成体験、消防署・消防団が実施する「現地災害対応訓練」の見学を行いました。



土の作成体験の様子

自治体名：下妻市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	防災行政無線の改良（防災行政無線テレガイドサービスの運用開始）

令和5年度の取組状況

- ・令和5年5月より防災行政無線テレガイドサービスの運用を開始した。
- ・HP、お知らせ版等で周知。

防災行政無線の放送内容を電話で確認できるようになりました

電話番号（通話料がかかります）

☎0296-44-3111

<注意事項>

- ・音声ガイダンスにしたがって確認してください。
- ・放送直後は電話回線が込み合う場合がございますので、繋がらない場合はしばらくたってからお掛け直しください。
- ・フリーダイヤルではございませんので、通話料は自己負担となります。

サービスに関するお問い合わせ先
下妻市役所 消防防災課 ☎0296-43-2111

自治体名：常総市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知、教育、訓練に関する事項
実施内容	小学生を対象とした防災教育の実施

令和5年度の取組状況

○R5年7月～11月に市内の小中学校（18校）で防災スポーツを実施

【 実 施 内 容 】

- ・日常からスポーツを通して災害に備え、生き抜く力を備えるための防災学習。ゲーム感覚で楽しみながらも災害時に役立つノウハウを身に付け、防災意識向上、防災行動につなげていくイベント。



◆キャタピラ煙避難

低い姿勢で煙を吸い込まないように避難する

◆一輪車で物資搬送
小回りの利く一輪車の操作方法を
身に付ける



◆毛布担架障害物
身の回りのもので担架を作り
負傷者を搬送する



自治体名：北茨城市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	防災教育の促進

令和5年度の取組状況

○市主催の夏祭りにおいて、防災ブースを設置し、市民に対しマイ・タイムラインの作成や防災メール登録など日頃からの防災について普及啓発を行った。

【実施内容】

- ・「我が家のタイムライン」チラシ配布
- ・市防災メール登録案内
 - ※ 約30件の登録者増
- ・備蓄品の展示及び配布

○市内小学生への防災教育を実施し、防災施設の見学やパーティションの設置体験を行った。

【実施内容】

対象：関本小学校4学年 15名

日時：令和5年9月21日（木）

場所：生涯学習センター（とれふる）



自治体名：笠間市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	小学生、教員を対象に防災講話を実施

令和5年度の実施状況

○小学生を対象とした防災授業の実施

- 7月24日 みなみ学園（6年生） 防災講話・資機材取り扱い訓練・DIG
- 7月25日 穴戸小学校（5年生） 防災講話・資機材取り扱い訓練
- 9月15日 笠間小学校（5年生） 防災講話・資機材取り扱い訓練

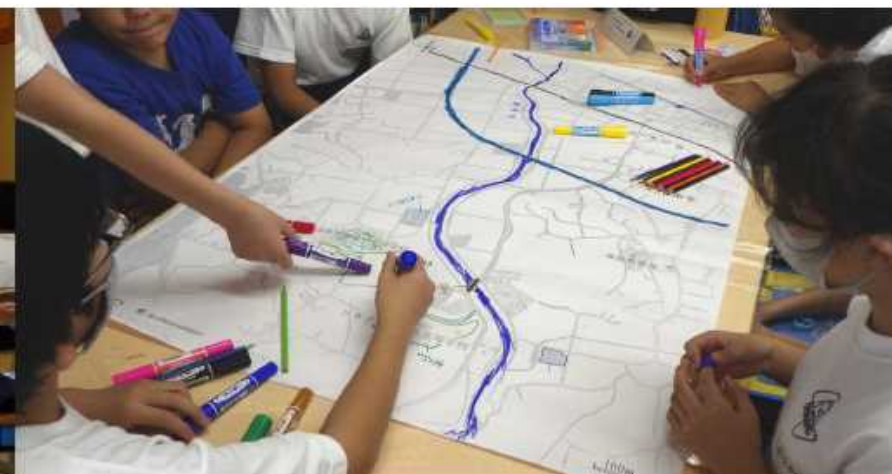
○教員を対象とした防災講話の実施

- 12月15日 笠間市学校防災推進委員会 防災講話・意見交換
- 12月21日 笠間市教育研究会 保健主事部会 防災講話



(その他自主防災組織や消防団、福祉協議会等への防災講話や資機材の取り扱い訓練 今年度12月末まで計12回)

▼みなみ学園防災学習 (DIG)



自治体名：取手市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	小学生を対象とした防災教育の実施

令和 5 年度の取組状況

○市内小学校で実施された、地域連携防災訓練の中で、災害時の避難行動について理解を深めるため、マイタイムライン作成講座を実施した。(令和 2 年度より継続実施)

【目的】

- ・地域と継続的な地域連携の防災訓練を実施することで、地域と学校の繋がりを強化する。
- ・防災に関する体験活動を通じ、児童の危機管理能力を高める。

【参加者】

小学校児童、学校職員、消防署、消防団、取手市役所

【内容】

- | | |
|------------|--------------------|
| 1 年生：通報訓練 | 2 年生：消火訓練 |
| 3 年生：煙体験 | 4 年生：応急処置講習 |
| 5 年生：AED講習 | 6 年生：マイ・タイムライン作成講座 |



自治体名：つくば市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	啓発の実施

令和5年度の取組状況

【パネル展の実施】

市内商業施設（イーアスつくば）が主催の防災に関するイベントに対し協力を行った。8月28日（月）～9月14日（木）の間、施設内の特設スペースにて、つくば市危機管理課提供のパネル展を実施した（水防災以外の内容も含む）。

水防災に係るパネルは、風水害発生前からの備えや情報収集の方法等を具体的に記載したものを複数枚用意した（FUKKO DESIGN作成の防災アクションガイドも許可を得た上、展示した）。



自治体名：つくば市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	啓発の実施

令和5年度の取組状況

【啓発イベントの実施】

11月13日（茨城県民の日）に市内商業施設（イーアスつくば）にて、市主催で啓発イベントを実施した。危機管理課のブースでパネル展示及び資料配布等を実施した（水防災以外の内容も含む）。

【イベント名】 良い明日が見えるまち Tsukubaフェス ～ぼうさい・こうつう・ぼうはん～

【来場者数】 2,500名（イベント全体）



自治体名：つくば市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	啓発の実施

令和5年度の取組状況

【啓発イベントへの参加】

10月13日、14日に市内商業施設（イオンモールつくば）が主催の防災に関するイベントにブース出展した。危機管理課のブースでパネル展示及び資料配布等を実施した（水防災以外の内容も含む）。

【イベント名】 つくば安全安心フェスタ

【来場者数】 10月13日1,200名、14日3,000名（イベント全体）



自治体名：つくば市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	啓発の実施

令和 5 年度の取組状況

【情報提供の実施】

市役所本庁舎 1 階フロア待合スペースの情報周知用モニター（4 箇所）で「逃げなきゃコール」の情報を令和 5 年 10 月 1 日から 3 か月間周知した。



自治体名：常陸大宮市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	中学生を対象とした防災教育の実施、住民が参加する避難訓練

令和5年度の取組状況

○中学生を対象としたマイタイムライン作成講習会の実施

【開催日時】令和5年9月4日

【場所】常陸大宮市立明峰中学校

【参加者】全校生徒152名

【目的】マイ・タイムライン作成講習会を開催し、災害に対する知識を深めると共に、避難タイミングの確認や避難力の強化を図る。また、防災気象情報や避難情報の取得方法について学ぶ。



○常陸大宮市避難力強化訓練の実施

【開催日時】令和5年7月30日

【訓練対象地域】大宮地区久慈川右岸流域の浸水想定区域

【訓練想定】大型台風の影響により河川水位上昇が予想され、市は久慈川流域住民に対し避難情報を発令。住民はマイ・タイムラインを参考に避難し、避難後に防災講習会を通して自己の避難行動を確認する。

【内容】①災害対策本部開設・運営訓練

②情報伝達訓練

③感染症対策を踏まえた避難所の開設・運営訓練

④消防団、自主防災組織による避難支援訓練

⑤マイ・タイムラインに基づく市民の避難訓練

⑥防災講習会

⑦茨城県防災航空隊による救出訓練（市民は見学）



自治体名：那珂市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	小学生を対象とした防災教育の実施

令和5年度の取組状況

- 令和5年9月7日、市立ばら野学園五台小学校の5年生を対象に、災害への備えに関する防災講話を実施しました。
- 避難所で実際に使用する段ボールベットやパーティションの設営体験を行いました。



自治体名：筑西市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	住民が参加する避難訓練

令和5年度の取組状況

- ① 目的 令和6年度に「五葉学園」が開校となり、それに伴い明野地区の5小学校が廃校となる。地元自治会からは、指定避難所である小学校が廃校となった際に、災害時の避難に不安があるとの声が多く挙がっていた。そのため、五葉学園の開校前に避難訓練を実施し、地域の避難力強化を図る。
- ② 日時 令和5年8月5日(土) 9:00～11:00
- ③ 会場 明野トレーニングセンター
- ④ 想定 大型で猛烈な台風の影響により、降雨量の増加及び河川の水位上昇が予想される中、流域住民に対し適切なタイミングで避難情報を発令するとともに、住民はマイ・タイムラインを参考に避難を開始し、避難後に避難所の体験や防災講習会を受講し、自己の避難行動や避難の重要性を再認識する。
- ⑤ 内容
- ・避難発令による住民避難訓練
 - ・避難所体験
 - ・関係企業等によるブース展開 等



自治体名：つくばみらい市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	つくばみらい市防災訓練を実施

令和5年度の取組状況

〇つくばみらい市防災訓練を実施

令和5年12月23日、大雨を想定し、鬼怒川、小貝川の氾濫警戒情報及び大雨警報で、高齢者等避難（警戒レベル3）を発令し、その後、氾濫危険情報に基づき、避難指示（警戒レベル4）を発令した。

市は災害警戒本部を設置し、仮想の被害情報を付与することによる図上訓練を実施した。

また、全市民に防災行政無線及び防災アプリ等にて周知を行い、避難行動の確認、さらに一部市民は避難所へ避難する訓練を行った。

【訓練内容】

- ・災害警戒本部設置訓練
- ・防災行政無線・市防災アプリ・SNS等による避難行動の呼びかけ（全市民）
- ・避難行動要支援者に対する安否確認・搬送支援訓練
- ・避難所（富士見ヶ丘小学校）での防災士による防災クイズ
- ・常総警察署警備課長による防災講話 等



情報共有室の様子



避難所での防災クイズの様子

自治体名：小美玉市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	災害への備えとマイタイムラインの作成

令和5年度の取組状況

玉里学園義務教育学校の7年生を対象に防災についての講習を行いました。

はじめて防災について学ぶとのことであったので、災害について全般的な話から、ハザードマップを用いて学校のある玉里地区の災害の危険についてと幅広く説明をしました。

この講習の中で、マイタイムライン作成をするにあたって、県で作成した様式を使用しました。

マイタイムラインについて説明する様子と作成に取り組む生徒



マイタイムラインについてのスライド（抜粋）

自分の身の安全を守ることを考えてもらうことで、防災への関心が高まった。

マイタイムラインを作ろう

■タイムラインとは・・・？

予定・時間軸・時系列・年表などの意味。
出来事や予定を時系列に並べたり一覧できるようにした図表。



災害発生時の
自分自身の防災行動計画

自治体名：茨城町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	風水害を想定した避難力強化訓練の実施

令和 5 年度の取組状況

町民が台風や豪雨による洪水、地震など災害への認識を深めるとともに、備えを強化することで被害の軽減や災害を未然に防止する行動を取るなど、防災意識を高めるため、防災の日である令和 5 年 9 月 1 日に風水害を想定した避難力強化訓練を実施した。訓練内容は①町民避難訓練、②避難所の開設・運営訓練、③災害情報伝達訓練とし、災害に備えた実践的な訓練を行った。

また、併せて防災週間（令和 5 年 8 月 30 日～9 月 5 日）の期間中、役場庁舎ロビーにて、防災備蓄品等の展示コーナー及び防災相談窓口を設置し、防災に関する町民からの相談について対応を行った。



【訓練の様子】



【防災展示コーナー】

自治体名：大洗町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	洪水ハザードマップの確認及びマイタイムライン作成

令和5年度の取組状況

・洪水ハザードマップの確認と、マイタイムラインの作成



自治体名：大子町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	小学生を対象とした防災教育の促進 (ハザードマップの存在と防災備蓄品の紹介)

令和5年度の取組状況

小学生を対象とした防災教育の実施

【開催日】

令和5年10月4日(水)

【対象】

町立袋田小学校 第4学年 児童9名 職員2名

※当該小学校に通う児童の中には、浸水想定区域に居住している児童もあり、令和元年東日本台風において被災した児童もいる。

【内容】

ハザードマップの存在と防災備蓄品の紹介

【目的】

○ハザードマップの存在

ハザードマップの存在を知ってもらうこと、また、自宅や学校付近に潜む危険な所を知ってもらうことを目的とした。

○防災備蓄品の紹介

防災倉庫の中に備蓄している資機材や非常食料を直接手に取り触れることで、防災に興味をもってもらうことを目的とした。



自治体名：阿見町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	洪水浸水想定区域内の住民に対し、指定避難所への避難訓練と、町職員の避難所開設訓練

令和5年度の実施状況

令和5年7月1日、台風により河川の水位が上昇したという想定で洪水浸水想定区域に避難指示を発令し、近くの指定避難所に避難してもらう訓練を行った。

これに合わせて、町の避難所担当職員も避難所開設・運営訓練も行った。

この訓練により、住民は避難方法の確認ができ、町職員は避難所運営の要領を確認した。



避難所受付の様子



テント設営の様子

自治体名：八千代町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	マイ・タイムライン作成を中心とした防災講座の実施 (1 / 2)

令和5年度の取組状況 (概要)

団体	日時	場所	参加者数	協力
兵庫沼端行政区 (高齢者)	9月10日(日) 13:30~15:30	兵庫沼端集落センター	20人	
川尻さくら会 (高齢者)	9月30日(土) 10:00~12:00	川尻集落センター	20人	八千代町防災士会
西豊田小学校(5年生 児童及び保護者)	11月10日(金) 13:20~14:05	生活科室	60人	八千代町防災士会
川西地区コミュニティ 推進協議会	12月2日(土) 10:00~12:00	久下田コミュニティセンター	20人	八千代町防災士会
川西小学校 (4~6年生)	12月12日(火) 13:30~14:15	体育館	60人	八千代町防災士会
東中学校(1年生生徒 及び保護者)	12月14日(木) 13:30~14:20	体育館	120人	八千代町防災士会

○令和5年度 開催実績 合計6回 参加者合計約300人

○今後の課題

- ・各行政区単位での講座の開催
- ・マイ・タイムラインを活用した避難訓練や危険箇所の共有
- ・町防災士会が主となって推進できるよう、体制の整備

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	マイ・タイムライン作成を中心とした防災講座の実施 (2 / 2)

令和5年度の実施状況 (記録写真)



9/10 (日) 兵庫沼端行政区



9/30(土)川尻さくら会



11/10(金)西豊田小学校



12/2 (土) 川西地区
コミュニティ推進協議会



12/12 (火) 川西小学校



12/14 (木) 東中学校

自治体名：五霞町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	避難所体験会・見学会の開催

令和5年度の取組状況

本町では、毎年11月の最終日曜日を「五霞町防災の日」として位置付け、避難訓練やマイ・タイムライン作成説明会などを開催し、町民の防災に関する意識啓発を目的とした取り組みを実施してきました。今年度は、震災や風水害時等を想定した避難行動と避難所運営方法を学び被害を最小限に抑えることを目的に令和5年度「五霞町防災の日」避難訓練を実施しました。

避難所体験会

- 日時：令和5年11月26日（日）8時30分～12時00分
- 場所：五霞町中央公民館及び各行政区
- 概要：
 1. 資機材点検
 - ・防災行政無線のサイレンを合図に、地域住民は各行政区事務所（15行政区）へ参集し、資機材の点検、消火訓練、救急救命訓練を実施。
 - ・希望する行政区（3行政区）は消火訓練と女性消防団員の指導による救急救命訓練が実施され、うち1行政区（元栗橋行政区）は五霞町中央公民館への避難行動訓練を実施した。
 2. 避難訓練
 - ・五霞町中央公民館では、防災士の資格を有する町職員が中心となり、避難者の受入れ訓練、災害関係パネル展示、マイタイムライン作成講座、避難所資材の設営訓練並びに利用体験、避難所内見学会を実施した。
- 参加者：資機材点検 約200名
避難訓練 約30名

マイタイムライン作成講座



避難所資材の設営訓練



自治体名：利根町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	水防災に関する啓発・説明会（及び避難訓練）の実施

令和5年度の取組状況

今年度より、職員の防災力の向上を目的に、防災アドバイザーからのアドバイスを受け、職員へのさらなる防災意識の改革を行うための業務委託契約を締結。

主な内容として、職員へ防災意識調査を行い現状把握後に、課題解決の研修を実施。日常業務と同様に災害への備えも重要であると認識してもらえよう意識と対応力の向上を図っている。

また、町民の方に対しても、「ここでしか聞けない～今日から始める風水害対策」と題して、防災講演会を開催し、防災対策や意識の向上を図った。



自治体名：利根町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	水防災に関する啓発・説明会（及び避難訓練）の実施

令和5年度の取組状況

県職員の方を講師としてお招きして、「我が家のマイ・タイムライン作成講習会」を行いました。講習会では近年の災害，水害から身を守ること，いざという時の災害に備えての自分たちはどのように行動するべきなのかを考え，町の洪水ハザードマップを見ながら，参加者各々のマイ・タイムラインを作成しました。



自治体名：利根町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	水防災に関する啓発・説明会（及び避難訓練）の実施

令和5年度の取組状況

防災訓練実施内容

1 1月5日に、洪水を想定した、町と地区（自主防災組織）による合同防災訓練を実施。町では、災害対策本部を設置し、避難所開設、応急給水、消防団による堤防の巡視を行い、地区（自主防災組織）では、非難の呼びかけ訓練を行い、町へ呼びかけ完了等の伝達訓練を実施するとともに、アルファ米を使った炊き出し訓練など、地域の実情に合った訓練を行っていただきました。

今回の訓練では、町内36地区中31地区にご参加いただき、初めて防災訓練を実施する地区もあり、住民の防災への意識の向上が見られました。



災害対策本部設置訓練



避難所での避難者受付訓練



自主防災組織の炊き出し訓練

自治体名：境 町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	令和5年度境町総合防災訓練及び防災講演会

令和5年度の取組状況

- 1 令和5年度総合防災訓練（広域避難訓練）
 - (1) 時期・場所 令和5年10月14日（土）、役場庁舎、町内全域及び県立八千代高校
 - (2) 参加者 825名（町民513名/避難車両244台、バス避難者99名/バス6台、関係機関・職員等213人）
- 2 防災講演会
 - (1) 時期・場所 令和5年5月12日（金）、境町中央公民館
 - (2) 講 師 東京大学大学院 片田敏孝特任教授
 - (3) 参加者 区長会、関係機関・団体等の防災リーダー293名

【防災講演会の状況】



主催者挨拶 橋本町長

講 師
東京大学大学院情報学環
片田 敏孝 特任教授

演題「災害犠牲者『ゼロ』を目指すこれからの境町防災を考える」

【総合防災訓練（広域避難訓練）の状況】



要配慮者のバスによる避難

自家用車による避難

避難所による受付の状況

陸自・職員・女性消防団による合同炊

終了式の状況

体験訓練の状況

自治体名：境 町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項
実施内容	ワンコイン浸水センサ実証実験への参加

令和5年度の取組状況

1 目的等

国土交通省水管理・国土保全局が実施する令和5年度ワンコイン浸水センサ実証実験に参加して、冠水ポイント、貯水池及び排水機場、合計18箇所に、リプロ社製の浸水センサを設置して、冠水状況等をリアルタイムで察知し、避難情報発令や通行止め又は通行制限などの生活情報発信に反映

2 全国各自治体等の参加状況 (R5.12.1時点)

参加自治体：53 参加企業：26 センサ製造者：6

全国参加自治体等の状況

- 参加自治体 : 53
- 参加企業等 : 26
- センサ製造者 : 6

センサ属性情報

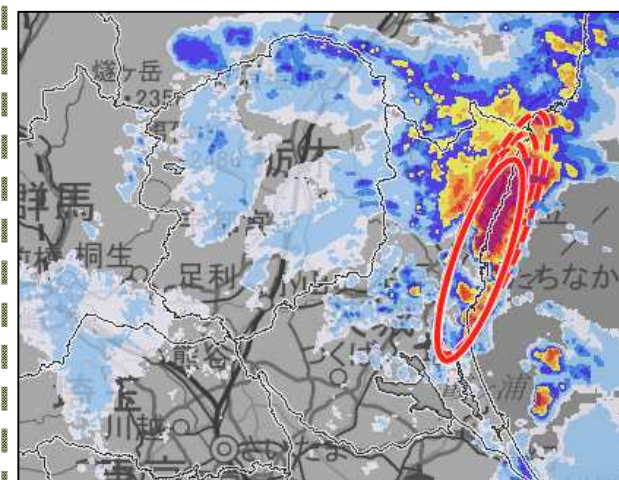
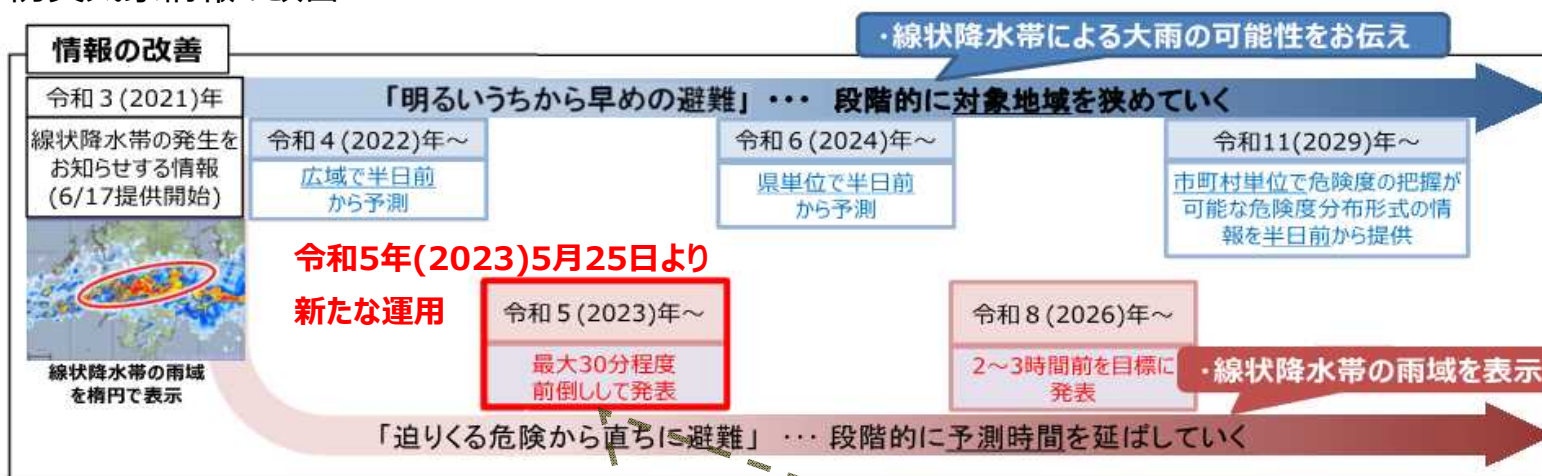
- センサID: 0854603006
- センサ状態: 浸水なし
- センサ管理者名: 茨城県境町
- 観測日時: 2023/12/19 00:50:43
- 浸水開始日時: -
- 設置場所: 境町
- 設置高さ: 0.1m
- 平均標高: 14.66m (国土地理院DEMデータ)
- 緯度: 36.1104072
- 経度: 139.8153263

【センサに関連する河川等】
染谷川、中央排水路、都市排水路

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認 (水害対応タイムライン)

令和5年度の取組状況

防災気象情報の改善



令和5年5月25日から線状降水帯の発生をお知らせする情報を最大30分程度前に発表する運用を開始。

加えて以下のデータも提供

- 橋元データ (線状降水帯の雨域)
 - ⇒ データ配信 (事業者等向け)
- 「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準を満たした事例 (線状降水帯の事例)
 - ⇒ 気象庁HPの解説ページに自動掲載

水戸地方気象台

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	防災情報等に関する説明会の開催

令和5年度の取組状況

【本年度の水戸地方気象台の主な取り組み】令和5年12月現在

5月19日 「災害対応講習会」(茨城県及び茨城県市長会・町村会との共催、Web開催)

5月24日、31日、11月28日、12月1日 「気象防災ワークショップ」(Web開催)

6月28日 「茨城県防災気象連絡会」

6月29日 「久慈川・那珂川洪水予報業務に関する説明会」(常陸河川国道事務所との共催)

8月25日 台風に関する気象解説(Web開催)、9月6日 台風説明会

8月27日 「日立市の防災士養成講座」 災害関連情報と予報・警報に関する講演

10月1日、12月9日 「いばらき防災大学」 気象、地震に関する講演と気象庁ワークショップを開催

11月19日 「日立市十王地区避難訓練」 防災気象情報等に関する講話



災害対応講習会の気象台側の様子



気象防災ワークショップ(オンライン開催)の気象台側の様子

水戸地方気象台

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	①情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	タイムライン（ホットラインを含む）に基づく首長も参加した実践的な訓練

令和5年度の取組状況

【本年度の水戸地方気象台の主な取り組み】令和5年12月現在

市町村が行う各種訓練への参画し、シナリオ作成時の協力、訓練内でのホットラインの実施、訓練後の講演等を実施した。

7月16日 茨城県・東海村2023年避難力強化訓練（オンライン参加）

7月24日 令和5年度災害対策本部運営訓練（常総市）

7月31日 鉾田市風水害対応防災訓練（鉾田市）

11月19日 令和5年度十王地区自主防災訓練（日立市）



常総市 令和5年度災害対策本部運営訓練の様子



東海村 2023年避難力強化訓練の様子

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	防災教育の促進

令和5年度の取組状況

【本年度の水戸地方気象台の主な取り組み】令和5年12月現在

茨城県による令和5年度学校安全総合支援事業に当台職員が協力。

7月25日 中核教員勉強会（結城市）において防災情報の利活用に関する講義を実施。モデル地域となっている結城市の児童・生徒向けの防災ハンドブック作成に情報を提供し、助言した。拠点校が結城特別支援学校であることから、資料「要配慮者支援のための防災情報入手先一覧（水戸地方気象台HPに掲載）」を提供し、利用を呼び掛けた。

当台職員が潮来市における当該事業の実践委員会委員（自然防災アドバイザー）として参画した。

10月20日 潮来市立日の出小学校6年生に対する防災講演会を実施

10月20日 中核教員研修会等に出席して助言や講義を実施

12月7日 公開授業の中でパネル展示、PCを使った解説を実施



中核教員勉強会（結城市）



防災講演会「自然災害から身を守るには～気象災害・地震～」
（潮来市日の出小学校）

水戸地方気象台

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	防災教育の促進

令和5年度の取組状況

【本年度の水戸地方気象台の主な取り組み】令和5年12月現在

東京管区気象台、水戸地方気象台は視覚・聴覚障害者のための国内唯一の大学である国立大学法人筑波技術大学と防災分野における要配慮者対策の推進にあたっての連携・協力に関する協定を締結（令和5年3月13日）している。令和5年度には、筑波技術大学の学生による気象台の見学を受け入れるとともに、防災知識の普及に係る意見交換を行い、対象となる視覚・聴覚障がい者の防災情報に関する理解度や利用の実態、要望などを把握するところから始めている。



11月29日（水）水戸地方気象台見学の様子

観測測器を触って説明を聞く視覚障がい学生



観測露場で説明を受ける聴覚障がい学生
手元のスマートフォンに同時文字通訳された説明が表示される



筑波技術大学学生との意見交換の様子

自治体名：茨城県（土木部 河川課）

取組項目	(2) 的確な水防活動のための取組
事項	①水防体制の強化に関する事項
実施内容	水害対応ガイドブックの配布

令和5年度の取組状況

○近年、災害の激甚化が全国各地で多くなってきているため、水防活動の重要性が高くなってきている。
水防活動を行う、各自治体及び水防・消防団向けに、水防に関する基礎的な内容を要約したリーフレットを作成し、配布した。

水害対応ガイドブック(抜粋)



自治体名：下妻市

取組項目	(2) 的確な水防活動のための取組
事項	②市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項
実施内容	新庁舎の開庁

令和5年度の実施状況

○令和5年5月8日より新庁舎が開庁。

①電気関係

- ・300KVAの非常用発電機を設置。燃料は軽油で合計6000Lを備蓄し、72時間運転が可能。

②上下水関係

- ・災害時給水がストップすると、上水は受水槽（呼称容量：24 m^3 、有効容量16 m^3 ：今回は調整の結果12 m^3 で引渡済み）分は使用可。停電時は井戸水の中水利用（トイレ）を予定。
- ・排水については、下水管が破断し放流が出来ない場合に備え80 m^3 の緊急配水槽を地下ピットに用意。



自治体名：境 町

取組項目	(2) 的確な水防活動のための取組
事 項	①水防体制の強化に関する事項
実施内容	令和5年度二市一町合同水防演習

令和5年度の取組状況

1 目 的

水防法第32条の2の規定に基づき、古河市、坂東市及び境町の二市一町合同水防演習を実施して、利根川の洪水による水害を防御し、堤防保全のため、消防団員に水防工法を習得させる。

2 時期、場所

令和5年6月25日（日）、境町本船町地先 利根川左岸堤防

3 参加者：200名

(1) 演習実施者等

演習本部長：境町長、演習実施部隊：境町消防団長以下110名、指導機関：茨城県境工事事務所、水防車両等展示：利根川上流河川事務所

(2) 研修等

古河市消防団、坂東市消防団、その他



杭 打 入



土のう作り



月 の 輪



竹 と げ



積み土のう



水防機材車両展示

自治体名：稲敷地方広域市町村圏事務組合

取組項目	(2) 的確な水防活動のための取組
事項	①水防体制の強化に関する事項
実施内容	二組合が合同で行う水防訓練の実施

令和5年度の取組状況

龍ヶ崎市小貝川市民運動公園において、稲敷地方広域市町村圏事務組合と利根川水系県南水防事務組合の二組合合同による水防訓練を実施しました。この訓練を通して、水防技術・知識の向上、関係機関相互の協力体制強化を図ることができました。

- 開催日時 令和5年5月21日（日） 8時30分から11時00分まで
- 開催場所 龍ヶ崎市川原代町 龍ヶ崎市小貝川市民運動公園
- 参加機関 稲敷広域消防本部、取手市消防本部、つくば市消防本部、常総地方広域市町村圏事務組合消防本部、茨城県竜ヶ崎工事事務所、龍ヶ崎市消防団、稲敷市消防団、利根町消防団、河内町消防団、取手市消防団、牛久市消防団、つくば市消防団、つくばみらい市消防団
- 訓練内容 土のう拵え工法、シート張り工法、積み土のう及び改良積み土のう工法、月の輪工法、釜段工法
※熱中症の予防対策として、救命胴衣を着装せず訓練を行いました

